

# 千葉経済大学短期大学部 こども学科

## 公募推薦入学試験

### 出題の傾向と対策 「作文」

#### 1. 概要

本学の入試科目「作文」は、AO入試を除くすべての入学試験で行われます。こども学科では、文章作成能力をとて重視しています。授業ではもちろん、実習で記録を書いたり、指導計画を作成したり、また物事を深く考える際には必ず必要になるからです。その能力を確認するために実施しています。

例年、課題文を提示し、その文章を読んで思ったこと考えたことを、一定の文字数で書いてもらいます。

#### 2. 出題傾向

毎年、課題文は、朝日新聞の「天声人語」や毎日新聞の「余録」などのコラムから出題しています。その文章を読んで思ったこと考えたことを、題を決めて500～600字で原稿用紙に書くように出題しています。試験時間は40分です。

評価の視点は、大きく分けて内容面と、表記面の2つです。内容面では、筋を通して、自分の考えや思いを書くことが大事です。表記では、誤字脱字、句読点やかぎかっこ「」などの記号の使い方、改行などでの原稿用紙の使い方、常体敬体の統一等々、表記全般について確認します。また、書かれた文字の丁寧さ読みやすさも評価の対象となります。

#### 3. 対策

普段から、機会を見つけて文章を作成することに心がけましょう。日記を書くのも良いでしょうし、その日高校で学んだことを振り返ってまとめてみるのも良いでしょう。自分の考えや感じたことを解釈し、文字にすることは簡単なことではありません。普段から心がけ実行しましょう。それは、自分らしさを持ち、自分の考えを持ち、ひいてはしっかりとした自分を持つこと、すなわち自己実現にも繋がります。また同時に、真実を見る目を育み、状況に応じて想像的に行動する能力にも繋がります。**本学科の目指す教育の成果である、「ものごとを自分の目で見、自分の頭で考えて、幼いこどもと温かく対応できる教育者・保育者として成長していきます」**に一步、近づくことになるのです。

以上のようにして文章作成力を磨いておき、直接の試験対策としては、「天声人語」や「余録」などから適当な文章を選んで、本学科の作文試験と同じ形式で書いて練習してみましょう。その際、まず課題文を読みながら、考えたこと感じたことを中心に、自分が書くこと的话题を明確にさせましょう。次に、その話題について書けそうなことを、箇条書きにワンセンテンスで幾つか書いてみましょう。そして、それらに基づいて作文のアウトラインを創り、それから作文を始めましょう。書き終わったら、しばらく時間をおいて、自分の書いたものを自分で添削・推敲（すいこう）をしてみましょう。その後で、他の人にも読んでもらい批評してもらいましょう。